

# NEWS RELEASE



2022年4月1日  
日本新薬株式会社  
広報部

各位

## ウプロラビ<sup>®</sup>錠で治療に取り組む患者さんへの サポートプログラム「シェルパ」を開始 ～プログラム専任看護師により患者さんの治療や生活をサポート～

日本新薬株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：中井 亨、以下「当社」）は、このたび、ウプロラビ<sup>®</sup>錠（一般名：セレキシパグ）で肺動脈性肺高血圧症（PAH）および、外科的治療不適応又は外科的治療後に残存・再発した慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）の治療を日本国内で受ける患者さんを対象に、患者さんのより良い治療生活を支えることを目的としたサポートプログラム「シェルパ」を開始いたします。

PAH や CTEPH は、肺動脈の血圧が高くなることで、心臓に負担がかかり、次第に心臓の働きが悪くなる疾患です。以前は治療が困難な時代もありましたが、現在は適切な治療を受けることで予後を改善できるようになってきています。希少疾患であり進行性の病気であるがゆえ、患者さんは、症状や治療の副作用による身体の不調や不安を抱える一方で、“もっと自分らしく普段の生活を過ごしたい”と願うこともあるかと思います。

今回開始する患者さんサポートプログラム「シェルパ」は、ウプロラビ<sup>®</sup>錠で治療に取り組む患者さんに対して、疾患や治療・生活上の疑問や不安、悩みごとなどに関して、専門トレーニングを受けたプログラム専任看護師が、電話により定期的なサポートを行います。希望する患者さんに無償で提供するもので、患者さんが必要な時に電話で相談できるコールセンターを通じて、症状などの記録や服薬管理にもお役立ていただけます。

なお、本プログラムは、診断・治療またはそれに準ずる医療行為を目的としたものではありません。

## 日本新薬について

日本新薬は、人々の健康と豊かな生活創りに貢献することを使命としています。病気に苦しむ患者さまやご家族へ福音となる特長あるくすり創りを通して、社会から信頼される企業を目指しています。当社が取り扱っている製品等、詳細な情報については <https://www.nippon-shinyaku.co.jp> をご覧ください。

## ウプトラビ(セレキシパグ)について

ウプトラビ<sup>®</sup>錠は、プロスタサイクリン受容体（IP 受容体）に対して、選択的かつ持続的に作用することで血管拡張作用を示し、肺の血行動態を改善する経口剤です。国内においては、肺動脈性肺高血圧症治療剤として2016年11月に販売を開始し、海外ではグローバルパートナーであるジョンソン・エンド・ジョンソン（以下「J&J」）が世界60カ国以上で承認を取得しています。2021年8月には、国内における「外科的治療不適応又は外科的治療後に残存・再発した慢性血栓塞栓性肺高血圧症」の効能・効果の追加に係る、製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。国内での本剤の情報提供および収集活動はJ&Jの医薬品部門日本法人であるヤンセンファーマ株式会社と共同でプロモーション活動を行っています。

## 肺動脈性肺高血圧症（PAH）について

PAHは、肺血管、特に心臓から肺に血液を送る肺動脈に問題が生じることにより、肺動脈の血圧が高くなる疾患です。肺への血液循環が低下し、肺から血液に取り込まれる酸素の量が減り、病気が進むと、軽い動作で息切れや呼吸困難といった症状が現れます。国の指定難病であり、国内には約3,700人の患者さんがおられます。治療法として、肺動脈を広げる作用を持つ薬剤での薬物治療が行われており、重症化すると肺移植を必要とする場合があります。

## 慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）について

CTEPHは、肺血管の内部に器質化した血栓が詰まること（塞栓）により、肺動脈へかかる圧力が上昇し、肺と心臓の血流が低下する疾患です。体を動かす時に息苦しく感じる、すぐに疲れるなどの症状が現れ、病気が進むと、心機能の低下により、足がむくむ、少し体を動かしただけでも息苦しいなどの症状が現れます。国内の患者数は、約4,200人で難病に指定されています。治療法としては、血栓を取り除く外科手術や、カテーテルを用いて血管を広げる治療、あるいは肺動脈を広げる作用を持つ内服薬での薬物治療が行われています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

日本新薬株式会社 PAH 領域プロダクトマーケティング部

◆E メール : [zz\\_mail\\_PAHyouiki@po.nippon-shinyaku.co.jp](mailto:zz_mail_PAHyouiki@po.nippon-shinyaku.co.jp)

以上